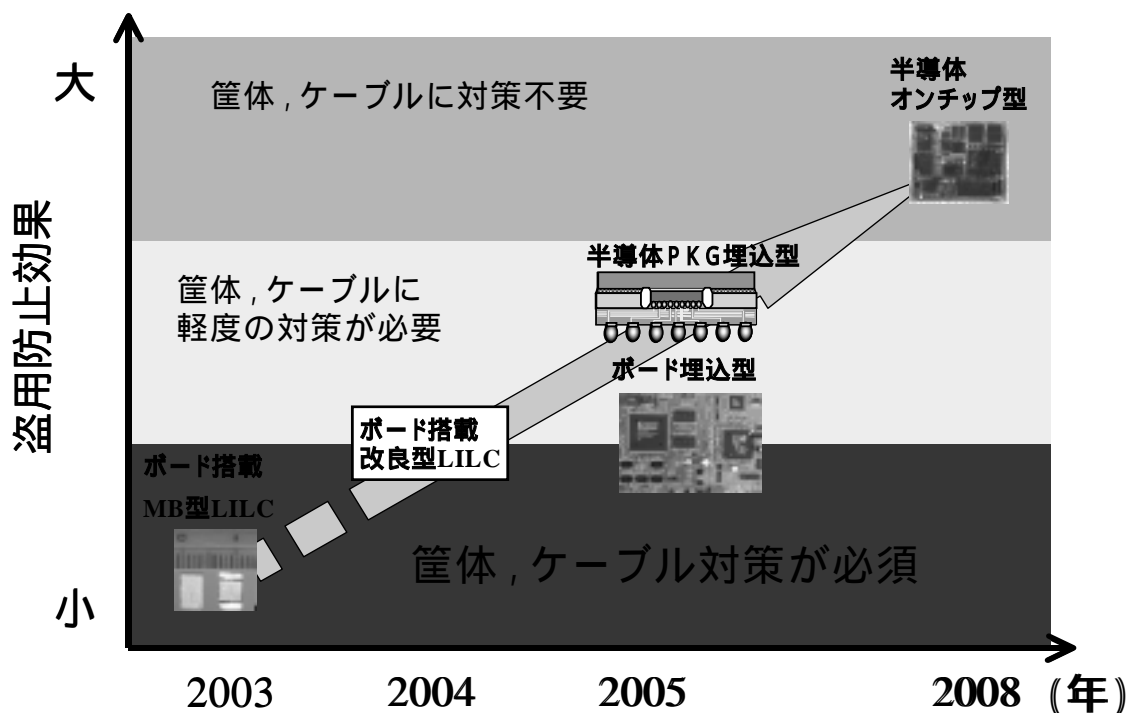


情報通信装置の漏洩電磁波盗用防止技術に関する研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成15年度採択案件

受託者	日本電気(株)
研究開発期間	H15年9月～H19年3月(3年7ヶ月)
研究代表者	遠矢弘和 日本電気(株) 実装研究所 研究部長
概要	<p>情報通信装置本体からの直接放射、あるいは接続されたケーブルなどを伝って外部へ漏洩した電磁波を受信し、その漏洩電波に含まれる情報を抽出する「漏洩電磁波盗用」を防止するため、電源分配回路に、従来のデカップリングコンデンサに置き換わる高性能の低インピーダンス線路素子(LILC; Low Impedance Line structure Component)技術を用いて装置本体からの電磁放射を顕著に抑制する技術の研究開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究開発により、特別な装置を装着せずとも2桁程度漏洩電磁波を抑制でき、情報通信装置からの情報盗用が根本的に防止される。 ・新しい電源分配回路技術が確立され、情報通信装置以外に、一般家庭電化機器、車載機器等に広く適用でき、これらのEMC (Electromagnetic Compatibility) 性能の向上、小型化等に寄与できる。 <p>【サブテーマ】 新たな電源分配回路技術</p>



新しい漏洩電磁波盗用防止技術に関する研究開発ロードマップ